

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	病診連携で対応しているてんかん患者の職業とケアギバー変化
研究責任者	代表;藤本礼尚 分担研究者;佐藤慶史郎、萩原翔太(浜松医科大学)
研究実施体制	解析およびデータ収集(藤本、萩原);単一施設、非盲検、後方視
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2024年12月
対象者	2014年12月~2023年12月の間に当院でEpi Passportを発行したてんかん患者さん
研究の意義・目的	てんかん患者さんの社会参加と自立を評価し病診連携の妥当性を周知することを目的としています。
研究の方法	【選択基準】 ・Epi Passportの発行を受けたてんかん患者さん ・発行日から当院にEpi Passportを介して一度以上再診をしている(連携が確立しているといえる) ・フォロー期間が6ヶ月以上 【除外基準】 ・発行後一度も来院していない(連携が確立していない) ・発行後6ヶ月以内に再度当院受診となっている人(連携がなされていない) ・再診後5年以上直近の来院が当院にない(事実上連携を終えている) ・他院(他のてんかん専門施設など)に完全に移動している ・発行時学生 【予定症例数】 600例 【症例数の設定根拠】 Epi Passportを発行した2014年12月から連携が確認できる期間を選択
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 てんかんセンター (氏名) 藤本礼尚 TEL:053-474-2222(代表) てんかんセンター外来 9:00~17:00 平日